

鳥インフルエンザ防疫対策を継続実施中

当センターでは、京地どりの種鶏ヒナや採卵鶏等約 1 千羽を飼養していることから、高病原性鳥インフルエンザの防疫対策は、1 年を通じて欠かせません。

台湾や中国、香港では秋以降継続的な発生が確認されており、渡り鳥により本病ウイルスが日本国内に侵入する可能性が非常に高まっています。

全国的な警戒が続く中、当センターでは、鶏舎や堆肥舎への野鳥や野生動物の侵入防止用のネット、フェンスや車両消毒装置等の念入りな点検と鶏舎周辺に消石灰を追加散布するなど、チェックシートを用いて日々、間違いのない防疫対策を継続しています。



チェックシートを用いて防鳥ネットなどを日々点検